

平成19年2月7日
内閣府遺棄化学兵器処理担当室

**中国広東省広州市黄埔区における
遺棄化学兵器発掘・回収事業の終了について**

1. 昨年11月22日(水)から中国広東省広州市において行われた遺棄化学兵器の発掘・回収事業は、2月6日(火)をもって終了した。
2. この間に同市黄埔区において発掘された砲弾等は461発であり、うち旧日本軍の化学砲弾等の数は97発(不明弾24発を含む。)であった。旧日本軍の化学砲弾等は、密封梱包を行い、今後、中国国内の臨時保管庫に保管される予定である。また、旧日本軍の化学兵器ではない364発の砲弾等については、中国側に引き渡した。
3. なお、今般の作業に当たっては、日本側より、政府関係者及び民間専門家等約30名が参加し、中国政府の全面的な協力の下に行われた。